

北海道港湾空港建設協会

会報

令和3年9月

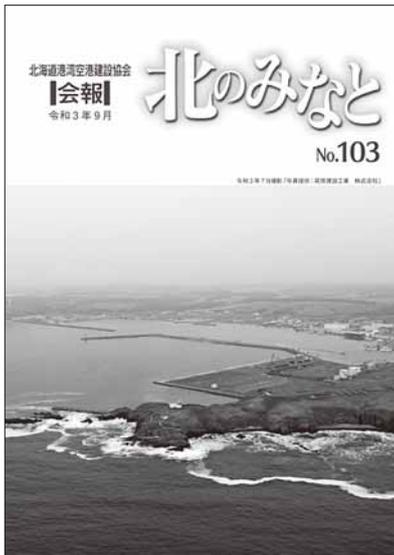
# 北のみなと

No.103

令和3年7月撮影「写真提供：萩原建設工業 株式会社」



## — 目 次 —



根室港（花咲地区）の概要

根室港は、北海道東端の根室半島に位置し、オホーツク海側にある「根室港区」と太平洋側の「花咲港区」の2地区で形成されています。

明治時代中期頃に、現在の根室港区の波止場の築設を契機として本格的な整備が始まり、その後も港湾機能を拡充させながら、昭和53年に根室港（現在の根室港区）と花咲港（現在の花咲港区）が統合して重要港湾に指定されました。

近年、漁獲量の低下が懸念されているものの、サンマの水揚げ日本一を誇るなど、全国有数の水産物供給拠点となっています。

なお、根室地区は平成4年から行われている北方領土との「ビザなし交流」をはじめとするロシアとの交流拠点として、また、耐震強化岸壁を備えた防災拠点としても重要な役割を果たしています。

## Report

日本港湾空港建設協会連合会 第38回通常総会開催 ..... 1

## 受賞

令和3年度 春の叙勲（黄綬褒章） ..... 2

令和3年度 漁港漁場関係事業優良請負者表彰 ..... 3

令和3年度 北海道開発局優良工事等表彰 ..... 4

令和3年度 北海道開発局港湾空港関係功労者表彰 ..... 6

令和2・3年度 各協会表彰 ..... 7

・（公社）日本港湾協会 企画賞（令和3年度）

・（公社）日本港湾協会 港湾功労者表彰（令和3年度）

・（公社）日本港湾空港建設協会連合会会長表彰 港湾功労者（令和2年度）

・（公社）日本港湾空港建設協会連合会会長表彰 港湾功労者（令和3年度）

令和2年度 全建賞（稚内港末広ふ頭岸壁改良事業） ..... 13

第44回土木学会北海道支部技術賞（羽幌港における離島フェリー動揺対策） ..... 14

## 各種記事

増毛港屋根付き岸壁供用式典（留萌開発建設部） ..... 15

### 我が社の安全衛生管理

（菱中建設㈱ 安全衛生管理室長 加登 清史） ..... 16

### 私の趣味「仕事の原動力」

（東洋建設㈱北海道支店 支店長 古田 圭也） ..... 18

福島漁港屋根付き船揚場供用開始（函館開発建設部） ..... 20

## Information

事務局だより・業界だより・広報委員会だより ..... 21

# 日本港湾空港建設協会連合会 第38回通常総会を リモートにより開催

日本港湾空港建設協会連合会は新型コロナウイルス対策のため、令和3年5月12日、第38回通常総会をリモートにより開催しました。

令和3年度の事業計画は以下のとおりです。

## 令和3年度 事業計画

### 1 会報の発行

港湾空港関係予算・技術開発等、港湾空港関係の諸情報並びに、会員の意見・要望等を掲載した会報を4回/年発行し、会員相互の情報交換を行う。

### 2 研修講習会等の開催

港湾空港建設事業の社会的地位の確立と、技術の開発向上を目的とした講習会及び見学会を実施する。

講習会の開催は、中堅技術者を対象に6月30日には沖縄県那覇市にて、また、9月には山形県酒田市にて開催する予定。さらに10月には経営者及び幹部社員を対象に経営者セミナーを東京都において開催する。

「独占禁止法・コンプライアンス関係講習会」を（一社）日本埋立浚渫協会と共催で行う。

### 3 要望及び意見等の発信

①港湾空港関係予算及び港湾空港事業に関わる諸課題について、関係方面及び関係機関に対して要望又は意見交換を実施する。

②港湾空港建設に係る当面の諸課題に関する要望や意見交換を、各地区連合会と共同して関係機関に対して実施する。

③都道府県協会が行う港湾空港建設に係る当面の諸課題に関する関係機関との要望や意見交換を支援、共同して実施する。

### 4 調査研究

①港湾空港建設業の発展に関する調査研究及び資料の収集等を行う。

②地区連合会技術委員会の活動経費に対して補助を行う。

③契約・設計・積算に関する調査研究。

④労働・安全・税制に関する調査研究。

⑤建設行政に関わる調査研究。

### 5 港湾及び空港の整備・振興に関する広報・啓発活動

①港湾及び空港の整備・振興に関し、広く社会一般に理解を得るための広報・啓発活動を行う。

②港湾及び空港の整備・振興の必要性を広く国政の場に反映するため、関係国会議員等の理解を得るための活動を展開する。

# 令和3年 春の叙勲受章者 伊藤組土建(株)平野良弘会長が 黄綬褒章を受章

令和3年春の叙勲受章者が発表され、伊藤組土建(株)の平野良弘会長が業務精励功勞（建設業）により、黄綬褒章を受章されました。

平野会長は、長年にわたり建設業に従事する傍ら、建設業協会、北海道経済連合会等、多くの団体の役員を歴任され、建設業の振興、発展、後継者の育成に尽力され、社会基盤整備に大きく貢献されたことが高く評価されました。



**平野 良弘 氏**

生年月 昭和14年 5月

**学 歴** 昭和37年 3月 室蘭工業大学工学部土木工学科 卒業

**職 歴** 昭和37年 4月 伊藤組土建株式会社 入社  
 平成元年 7月 同上 土木部長  
 平成8年 6月 同上 常務取締役 土木部長  
 平成10年 6月 同上 常務取締役 建設本部長  
 平成17年 6月 同上 代表取締役副社長 副社長執行役員  
 平成20年 6月 同上 代表取締役社長 社長執行役員  
 平成21年 4月 同上 代表取締役社長  
 平成22年 6月 同上 代表取締役会長 現在に至る  
 平成24年11月 ITKソーラー北海道株式会社代表 現在に至る

**団体歴** 平成22年 5月 社団法人 北海道建設業協会 理事 現在に至る  
 平成2年 5月 社団法人 札幌建設業協会 土木委員会委員  
 平成21年 5月 同上 理事  
 平成22年 5月 同上 副会長 現在に至る  
 平成23年10月 一般社団法人 札幌建設業協会 札幌部会 部会長  
 現在に至る  
 平成22年 7月 北海道経済連合会 常任理事 現在に至る

**賞 罰** 平成12年 5月 札幌建設業協会 会長表彰  
 平成16年 5月 北海道建設業協会 会長表彰  
 平成25年 5月 全国建設業協会 会長表彰  
 平成26年 7月 国土交通大臣表彰

# 令和3年度 漁港漁場関係事業優良請負者 表彰受賞者

水産庁の令和3年度漁港漁場関係事業優良請負者表彰として近藤工業㈱（本社：小樽市 佐藤 慶一社長）及び釧石工業㈱（本社：釧路市 西村 智久社長）が水産庁長官表彰を受賞されました。

本表彰は漁港漁場関係事業への理解を深めるとともに、漁港漁場建設技術の向上を図り、漁港漁場関係事業の円滑な実施に資することを目的として、他の模範に足る功績を残した請負者を表彰するものです。

例年、水産庁において表彰式が行われますが、今年度は昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から近藤工業㈱は6月7日、小樽開発建設部 遠藤部長、釧石工業㈱も同日、釧路総合振興局 京田副局長から表彰状が伝達されました。



近藤工業 株式会社  
佐藤 慶一 氏  
代表取締役社長

## 会社概要

本社所在地	小樽市
創業	昭和7年
設立	昭和24年
資本金	3,580万円



釧石工業 株式会社  
西村 智久 氏  
代表取締役

## 会社概要

本社所在地	釧路市
創業	昭和30年
設立	昭和30年
資本金	9,800万円

# 令和3年度 北海道開発局優良工事等の表彰

北海道開発局は工事等に係る技術の向上を目的として、前年度に完成した工事及び完了した業務の中から、優秀な成果を収めた企業及び技術者を表彰しております。

今年度は令和2年度に完成した工事1,655件中から局長表彰35件（34社 1JV）、各開発建設部長表彰90件（89社 1JV）が選定され、工事を実施した企業とその工事に携わった技術者が表彰されました。

港湾・空港・漁港部門における局長表彰は、①(株)山口工業所が施工した「苫小牧港西港区－3m物揚場建設その他工事」②岩倉・渡辺経常JVが施工した「落石漁港（浜松地区）突堤建設その他工事」の2件（3社）が受賞されました。

各開発建設部長表彰は、札幌（(株)NIPPO）、函館（(株)富士サルベージ）、小樽（近藤工業(株)）、釧路（萩原・釧石経常JV、白崎建設(株)）、網走（(株)西村組）及び稚内（(株)中田組）が受賞されました。

なお、当初、予定された表彰式は新型コロナウイルス感染症対策のため、延期されました。

## — 港湾・空港・漁港部門における受賞工事 — 【北海道開発局長表彰】

### ○工事名：苫小牧港西港区－3m物揚場建設 その他工事

発注者：室蘭開発建設部

施工者：(株)山口工業所

技術者：



小野 義則 氏



#### 〔表彰理由〕

本工事は、吊荷通過警報装置による安全対策や埋設物撤去時に発生した濁水対策としてノッチタンクの活用など環境対策に努めるとともに、陸上地盤改良工法施工に伴う地盤変位による周辺既設構造物への影響把握のため自動追尾式トータルステーションを活用した創意工夫による精度の高い施工を行った。更に、地域貢献として、積極的に地元高校生をインターンシップとして受け入れた。

## ○工事名：落石漁港（浜松地区）突堤建設 その他工事

発注者：釧路開発建設部

施工者：岩倉・渡辺 経常JV

技術者：



三上 智史氏  
(岩倉建設)



山白 道敏氏  
(渡辺建設工業)



### 【表彰理由】

本工事は、ICT技術（UAVによる3次元データ取得、ICT建設機械、3次元レーザースキャナ等）の活用や積極的なプレキャスト製品の活用を提案し、施工の省力化、効率化を図ることにより工期短縮を図った。また、工事情報掲示板の設置による漁業者への作業内容の周知、車両検知システムを設置するなど、漁業利用者、地域住民の安全対策にも配慮した施工を行った。

## 【各開発建設部長表彰】

### ○工事名：新千歳空港末端取付誘導路新設外工事

発注者：札幌開発建設部

施工者：㈱NIPPO

技術者：斉藤 慶之氏

### ○工事名：奥尻港外2港建設その他工事

発注者：函館開発建設部

施工者：㈱富士サルベージ

技術者：高山 明洋氏

### ○工事名：古平漁港外1港-5.0m岸壁（耐震） （改良）その他工事

発注者：小樽開発建設部

施工者：近藤工業㈱

技術者：高井 竜司氏

### ○工事名：厚岸漁港人工地盤スロープ部（橋梁） その他工事

発注者：釧路開発建設部

施工者：萩原・釧石 経常JV

技術者：外尾 賢一郎氏（萩原建設工業㈱）

山田 勇人氏（釧石工業㈱）

### ○工事名：釧路空港場周柵改良工事

発注者：釧路開発建設部

施工者：白崎建設㈱

技術者：安藤 剛士氏

### ○工事名：ウトロ漁港島防波堤・知床岬岸壁工 事

発注者：網走開発建設部

施工者：㈱西村組

技術者：合田 幸司氏

### ○工事名：沓形港-5.0m岸壁改良その他工事

発注者：稚内開発建設部

施工者：㈱中田組

技術者：諏訪 数昌氏

# 令和3年度 北海道開発局 港湾空港関係功労者表彰

北海道開発局は7月20日、札幌第1合同庁舎において、令和3年度「港湾空港関係功労者表彰」の表彰式を行い、魚住港湾空港部長が受賞者に表彰状を授与しました。

本表彰は、港湾空港整備事業の推進を目的として、港湾空港関係の業務等に関し、多大な功労があった方々を対象に実施しています。

今年度は株式会社菅原組（函館）の菅原 修社長と前利尻町長の保野洋一氏が受賞されました。

菅原 修社長は、建設事業の経営責任者として港湾整備の拡充に尽力した功績が顕著であったこと、また、保野前町長は、沓形港の港湾管理者として、長年にわたって港湾の整備・振興に寄与し、地域の発展に尽力した功績が顕著であったとして表彰されたものです。

魚住港湾空港部長は表彰状授与後の挨拶で「北海道の港湾空港は全国への食料供給や産業などを支える重要な社会資本であり、今後も本道発展のため屋根付き岸壁やクルーズ船岸壁等の整備を進めていく」と述べ、港湾整備への協力を求めました。

推薦 北海道港湾空港建設協会  
(一社)日本海上起重技術協会  
北海道支部



株式会社菅原組  
代表取締役  
**菅原 修 氏**  
生年月 昭和29年 9月

## 略 歴

昭和52年 4月 大新土木株式会社 入社  
昭和54年 4月 株式会社菅原組 入社  
平成7年 3月 同上 専務取締役  
平成27年 6月 同上 代表取締役  
現在に至る

推薦 稚内開発建設部



前利尻町長  
**保野 洋一 氏**  
生年月 昭和23年 4月

## 略 歴

平成25年 5月 利尻町長就任  
平成29年 5月 利尻町長就任（第2期）  
令和3年 5月 利尻町長退任

# 令和3年度 (公社)日本港湾協会 企画賞

Rensetsu

b/Eo'

遺愛女子高等学校（函館市）が令和3年度（公社）日本港湾協会 企画賞を受賞されました。

本表彰は港湾に関する映像、著作、イベント等において、その企画表現が特に優れたもので、港湾の啓蒙、整備促進への貢献等が顕著であった個人又は団体を対象に顕彰されます。

遺愛女子高等学校は平成19年から英語の授業の一環としてクルーズ乗船客の通訳を務める活動を行い、平成30年、令和元年にはダイヤモンドプリンセスのクルーズも体験しました。

今回は昨年2月に新型コロナウイルス集団感染が発生したダイヤモンドプリンセスに対し、新型コロナウイルスの収束と乗船客を励ますビデオメッセージを送ったこと等、情報発信を続けた取り組みが表彰対象となりました。

例年、日本港湾協会総会において表彰式が行われておりますが、新型コロナウイルス対策のため、6月15日函館開発建設部 高橋部長が同校を訪れ、表彰状を伝達しました。



高橋部長からの表彰状伝達



遺愛女子高等学校の皆様

# 令和3年度 (公社)日本港湾協会 港湾功労者表彰

長年にわたり港湾に関する職務に従事し、功績が特に顕著であること、港湾の管理運営振興、計画設計、施工の各部門に関して研究、実施等に特に顕著な成果をあげ、他の模範となる方を対象に表彰している令和3年度(公社)日本港湾協会 港湾功労者に以下の方々を受賞されました。

受賞されました皆様には心からお慶び申し上げます。

## 北海道港湾協会推薦 (順不同 所属等は令和3年7月現在)



**秋浜 政弘 氏**  
生年月 昭和34年5月  
(一財)港湾空港総合技術センター北海道支部 企画部長

### 略歴

昭和53年 北海道開発局 採用  
平成28年 稚内開発建設部 技術管理官  
平成30年 (一財)港湾空港総合技術センター北海道支部 企画部長  
現在に至る



**上川 功一 氏**  
生年月 昭和34年8月  
(一財)港湾空港総合技術センター北海道支部 事業第一部長

### 略歴

昭和53年 北海道開発局 採用  
平成30年 稚内開発建設部 技術管理官  
令和2年 (一財)港湾空港総合技術センター 北海道支部 事業第一部長  
現在に至る



**杉山 盛行 氏**  
生年月 昭和34年9月  
(一社)寒地港湾空港技術研究センター 第2調査研究部長

### 略歴

昭和57年 北海道開発局 採用  
平成29年 留萌港湾事務所長  
令和2年 (一社)寒地港湾空港技術研究センター 第2調査研究部長  
現在に至る



**今林 弘 氏**  
生年月 昭和34年7月  
菱中建設株式会社 土木部 技術顧問

### 略歴

昭和57年 北海道開発局 採用  
平成30年 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構  
令和2年 北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課付  
令和2年 菱中建設株式会社 土木部 技術顧問  
現在に至る

## 全国浚渫業協会推薦



**田中 和幸 氏**  
生年月 昭和35年10月

### 略歴

昭和58年 株式会社 出口組入社  
平成元年 株式会社 西村組入社



**山口 壽雄 氏**  
生年月 昭和34年3月  
北日本港湾コンサルタント株式会社 品質保証室長

### 略歴

昭和56年 北日本港湾コンサルタント株式会社 入社  
平成29年 総務部長、品質保証室長兼務  
令和2年 品質保証室長  
現在に至る

## (一社)港湾技術コンサルタンツ協会推薦

# 令和2年度及び令和3年度 (公社)日本港湾空港建設協会連合会 会長賞表彰 港湾功労者賞

北海道港湾空港建設協会から9名(令和2年度)及び11名(令和3年度)受賞

経営合理化、工費適正化、技術向上、作業効率化及び従業員の労務・厚生改善等により協会発展に尽くされた功績により、日本港湾空港建設協会連合会第37回通常総会及び第38回通常総会において、当協会から以下の方々が会長賞を受賞されました。

なお、昨年度は新型コロナウイルス感染症のため式典が行われず、今年度、2か年分を行うことになったことから令和2年度及び令和3年度受賞の方々をご紹介します。

受賞されました皆様には心からお慶び申し上げます。

## 令和2年度 (所属及び役職は令和2年2月時点)

### 代表者表彰



**福西 秀和 氏**  
生年月 昭和26年5月  
(株)工藤組 代表取締役

#### 略歴

昭和51年 (株)工藤組 入社  
昭和61年 同社 取締役  
昭和63年 同社 常務取締役  
平成4年 同社 代表取締役  
現在に至る



**福津 隆範 氏**  
生年月 昭和27年12月  
(株)福津組 代表取締役社長

#### 略歴

昭和55年 (株)福津組 入社  
昭和58年 同社 常務取締役  
昭和61年 同社 代表取締役社長  
現在に至る

### 従業員表彰 (順不同)



**山田 和義 氏**  
生年月 昭和33年3月  
(株)中田組 工事部工事長

#### 略歴

昭和55年 (株)中田組 入社  
平成30年 同社 工事部工事長  
現在に至る



**森山 瑞男 氏**  
生年月 昭和34年9月  
勇建設(株) 室蘭営業所長

#### 略歴

昭和62年 勇建設(株) 入社  
平成22年 同社 室蘭営業所 所長  
現在に至る



**遠藤 暢 氏**  
 生年月 昭和35年 7 月  
 萩原建設工業(株) 工務担当課長

**略 歴**

昭和58年 萩原建設工業(株) 入社  
 平成22年 同社 工務担当課長  
 現在に至る



**勝谷 利之 氏**  
 生年月 昭和36年12月  
 (株)高木組 土木部課長

**略 歴**

平成 2 年 (株)高木組 入社  
 平成28年 同社 土木部課長  
 現在に至る



**佐々木 政喜 氏**  
 生年月 昭和38年12月  
 (株)菅原組 工事部工事課長

**略 歴**

昭和61年 (株)菅原組 入社  
 平成13年 同社 工事部工事課長  
 現在に至る



**野崎 義人 氏**  
 生年月 昭和40年 5 月  
 堀松建設工業(株) 工事部長代理

**略 歴**

昭和59年 堀松建設工業(株) 入社  
 平成27年 同社 工事部長代理  
 現在に至る



**塚越 潤一 氏**  
 生年月 昭和41年 4 月  
 機械開発北旺(株) 工事部次長

**略 歴**

平成元年 北海道機械開発(株) 入社  
 平成29年 機械開発北旺(株) 工事部次長  
 現在に至る

## 令和3年度 (所属及び役職は令和3年3月時点)

### 代表者表彰



**萩 幸氏**  
生年月 昭和44年11月  
北興工業(株) 代表取締役社長

#### 略歴

平成13年 北興工業(株) 常務取締役営業担当  
平成19年 同社 専務取締役兼札幌支店長  
平成24年 同社 代表取締役社長  
現在に至る



**山田 健一郎氏**  
生年月 昭和42年9月  
(株)山田組 代表取締役社長

#### 略歴

平成3年 (株)山田組 入社  
平成9年 山田造園(株) 取締役として出向  
平成10年 (株)山田組 社長室長  
平成19年 同社 常務取締役  
平成23年 同社 代表取締役副社長  
平成25年 同社 代表取締役社長  
現在に至る

### 従業員表彰 (順不同)



**石井 尚也氏**  
生年月 昭和36年5月  
勇建設(株) 帯広営業所長

#### 略歴

昭和59年 勇建設(株) 入社  
平成22年 同社 帯広営業所 所長  
現在に至る



**近藤 彰裕氏**  
生年月 昭和34年8月  
(株)西村組 営業部長

#### 略歴

昭和57年 (株)西村組 入社  
平成25年 同社 営業部長  
現在に至る



**嶋中 誠治氏**  
生年月 昭和40年2月  
藤建設(株) 土木次長

#### 略歴

昭和62年 藤建設(株) 入社  
平成27年 同社 土木次長  
現在に至る



**新谷 裕治氏**  
生年月 昭和36年10月  
(株)菅原組 工務部工事課長

#### 略歴

平成6年 (株)菅原組 入社  
平成23年 同社 工務部工事課長  
現在に至る



**鈴木 修 氏**  
生年月 昭和40年3月  
真壁建設(株) 建設部次長

**略 歴**

昭和58年 真壁建設(株) 入社  
平成15年 同社 建設部次長  
現在に至る



**筒井 英明 氏**  
生年月 昭和42年4月  
機械開発北旺(株) 工務部次長

**略 歴**

平成2年 北海道機械開発(株) 入社  
平成30年 機械開発北旺(株) 工務部次長  
現在に至る



**土門 浩之 氏**  
生年月 昭和42年4月  
(株)吉本組 事業部工事課長

**略 歴**

平成6年 (株)吉本組 入社  
平成29年 同社 事業部工事課長  
現在に至る



**南波 聡 氏**  
生年月 昭和44年4月  
三協建設(株) 土木部次長

**略 歴**

昭和63年 三協建設(株) 入社  
平成11年 同社 土木部次長  
現在に至る



**三上 雅徳 氏**  
生年月 昭和41年1月  
(株)高木組 土木部課長

**略 歴**

昭和63年 (株)高木組 入社  
平成29年 同社 土木部課長  
現在に至る

# 令和2年度 全建賞 受賞 稚内港末広ふ頭岸壁改良事業 ～既存施設を活用した大型客船に対応した整備～

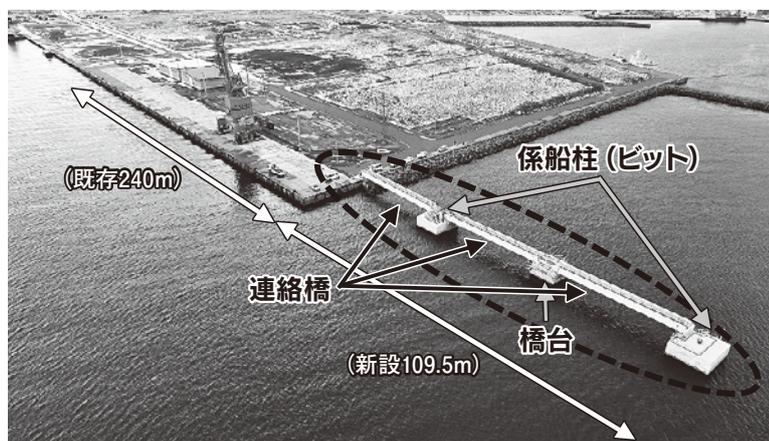
稚内開発建設部 稚内港湾事務所

「稚内港末広ふ頭岸壁改良事業～既存施設を活用した大型旅客船に対応した整備～」が、令和2年度全建賞を受賞しました。本事業は、大型クルーズ船の寄港要請に対して早期に対応するため、既存施設を活用し、ドルフィン形式での改良を実施し、既設岸壁構造をそのまま延伸し施工した場合と比較し、半分以下の期間である2年間という短期間で工事を竣工させるとともに、コスト縮減を図った点が評価されました。

本岸壁改良事業では、北海道への寄港実績が多い12万トン級の大型クルーズ船が安全かつ円滑に係留できるよう、既存施設である末広ふ頭東岸壁240mを活用し、その延長方向に係留用ビットを2基増設することで係留に必要な延長350mを確保しました。また、係留用ビットの間には係船作業時の安全性と効率性を確保するため連絡橋を架設しました。

施工においては、ドルフィン本体が連絡橋の橋台となるため、基礎捨石の沈下抑制が課題でした。このため、ドルフィンの基礎捨石を2層仕上げで施工することにより不等沈下を防止し、連絡橋の施工に影響を与えないよう工夫しました。

本施設は、施設整備直後からクルーズ船が寄港するなど、早期に整備効果が発現しております。今後も地域活性化に大きく貢献されることが期待されます。



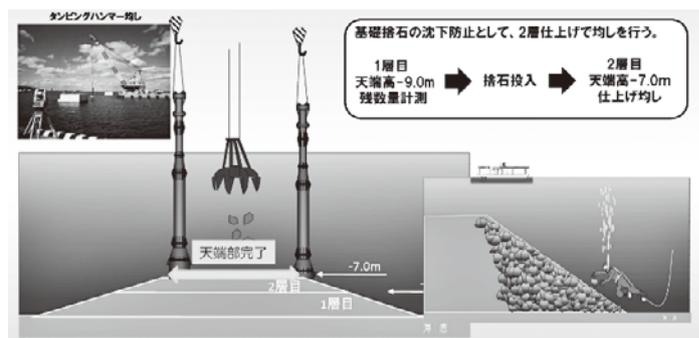
係留ビット完成状況



連絡橋の架設状況



入港歓迎セレモニー



基礎捨石2層均し(イメージ図)

# 第44回 土木学会北海道支部技術賞 受賞 羽幌港における 離島フェリー動揺対策

RH13/H0'

b/H0'

留萌開発建設部 留萌港湾事務所

羽幌港は、天売・焼尻島への玄関口として地域住民や観光客の輸送を担うフェリーが就航しています。平成25年4月には、バリアフリーを備えた新たなフェリーターミナルが供用しました。

近年、冬季において当海域で発達する低気圧の勢力が従来より強まる傾向にあります。その結果、高潮や波浪が発生し、岸壁に係留しているフェリーの船体が大きく動揺して、安全な係留ができず、港奥に避難を強いられていました。

このため、留萌開発建設部では、原因究明の現地調査やフェリー避難の要因分析、近年の波浪推算での港形評価の見直しを行いました。その調査結果を踏まえ、フェリーの通年利用を満足する対策工を羽幌港港湾関係者会議にて決定し、港湾整備によりこの課題を解決しました。

受賞理由としては、港湾や海岸では全国的に高波被害が頻発化するとともに、気候変動に起因する波浪の影響が懸念されています。羽幌港で検討した一連のプロセスは、今後の事業に対して模範となることが認められました。ここに、羽幌港港湾関係者会議の参加機関や現地調査等を実施した建設コンサルタント、安全に工事を進めた施工業者に対して厚くお礼を申し上げます。

**「羽幌港における離島フェリー動揺対策」  
～地域一体で進めた静穏度対策の実施～**

○平成25年に新たなターミナルの運航を開始しました。冬季には、高潮や高波の発生により、フェリーが港奥へ避難行動を繰り返す状況にありました。



旧フェリー岸壁 新フェリー岸壁 港奥の旧フェリー岸壁に避難状況

①原因究明の現地調査と近年の波浪推算での評価の実施

- ・現地調査：風向風速計、超音波波高計2点、定点カメラの船体動揺観測
- ・波浪推算：計画時(H6～H10)と近年(H23～H27)との波高出現頻度比較
- ・港形評価：近年の波浪推算での港形評価(当海域での波浪変化)

フェリー船体動揺の画像 (風向風速計・波高計観測・定点カメラ撮影) 新フェリー岸壁の波浪観測 (風向風速計・波高計観測、定点カメラ撮影)



※現地観測調査委託：(株)クマシロシステム設計、日本データサービス(株)

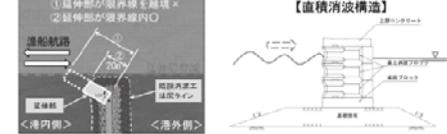
②港湾関係者会議の開催(5回)

- ・現地観測の説明・避難要因の分析結果・浮標灯での出入港トライアル
- ・提案港形の整備効果・整備手順の合意



③波除堤の構造設計

- ・船舶航路に影響を与えない直積消波構造を採用。



※構造設計受託：北日本港湾コンサルタント(株)

④平成28年度～令和元年度での波除堤B部50m及びC部20mの工事



※波除堤施工者：三協建設(株)、白鳥建設工業(株)

上記の取組みにより、避難行動が解消され、離島フェリーの安定的な運航に大きく貢献しました。



フェリーの安全係留 フェリー安定運航

■近年、全国的に高波被害が頻発化するとともに、気候変動に起因する波浪の変化の影響が懸念されています。羽幌港で検討した一連のプロセスは、今後の事業に対して模範となることから、土木学会北海道支部技術賞を授与される価値があるものと認められました。

# 増毛港屋根付き岸壁の供用式典

北海道開発局 留萌開発建設部

増毛港本港地区で整備を進めていた屋根付き岸壁の工事が完成し、留萌開発建設部と増毛町は、令和3年7月17日に供用式典を開催しました。

屋根付き岸壁は、平成29年5月増毛港を含む道内の6港湾管理者が策定した農水産物輸出促進計画（国土交通省港湾局長認定）に基づき、道内6港で推進している農水産物輸出促進基盤整備事業の一環として実施したものです。

供用式典の主催者である堀雅志増毛町長と村山雅昭留萌開発建設部長より式辞があり、堀町長からは、「増毛港では、かねてから、陸揚げ作業を野天の下での作業となり、直射日光での品質低下、カモメの糞による異物混入など衛生面に課題があった。農水産物輸出促進計画に基づき屋根付き岸壁が完成した。輸出好調なホタテに続き、サケ・ナマコの水産物もさらなる輸出促進が図られると確信しており、同時に漁業者の所得の向上にも繋がると、大いに期待している」と述べられました。その後、来賓の稲津久衆議院議員や神谷裕衆議院議員から祝辞をいただきました。続いて、西野憲一増毛漁業協同組合 代表理事組合長からは「増毛港で水揚げされた水産物を、海外に積極的にPRし、輸出促進を図ってまいります。」と本事業への期待が述べられ、最後に来賓や関係者によりテープカットが執り行われました。

本事業により、北海道の水産物の国際競争力が高まり、輸出促進が期待されます。



増毛港航空写真（丸囲み）



完成した屋根付き岸壁（物揚場-3.5m延長90m）



左から、堀増毛町長、神谷裕衆議院議員、稲津久衆議院議員、西野漁協組合長、村山開建部長

# 我が社の安全衛生管理

菱中建設株式会社 安全衛生管理室長 加登 清史



## 1. はじめに



弊社は1908年（明治41年）の創業以来、北海道と宮城県を中心に建設技術の専門集団として地域経済の歴史と共に歩んでまいりました。創業以来、大正、昭和、平成そして令和と激動の時代の中を100余年にわたり社業を重ね、この間、終始一貫して誠心誠意を基本理念として信頼という幹をつくり、安全・誠実・技術・経験という枝葉で安心と信頼の軌跡を刻み続けています。

安全に対しても『人命尊重』の理念を守り通し、全社が一丸となって取り組んでいます。



## 2. 安全衛生管理方針



前年の安全衛生活動の反省の基に、安全衛生管理方針を毎年策定しています。

### 【2021年 安全衛生管理方針】

当社は「労働災害ゼロの達成と心身の健康確保」を基本理念として、従業員及び建設現場の安全確保と心身両面の健康保持増進を図るため全社をあげて安全衛生活動を展開する。

過去の事故・災害を教訓とした安全対策や、リスクアセスメント・危険予知などの先読みの安全活動を深化させて労働災害ゼロを達成する。

また、職業性疾病の防止や生活習慣病の予防措置、働き方改革の推進等、ハード・ソフト両面から心身の健康障害防止対策を講じる。



## 3. ゼロ災指針



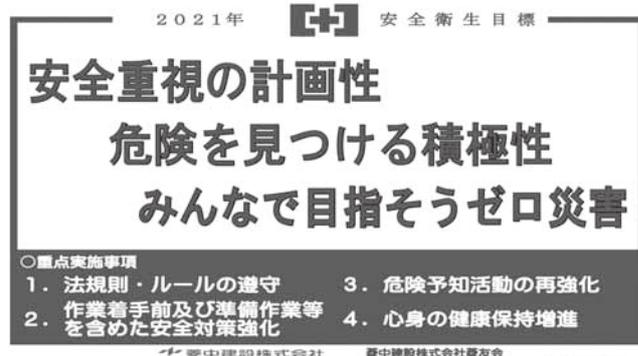
安全活動は『全員参加』が基本です。また、充実した安全活動を展開するためには管理監督者が「管理活動の活性化」を働き掛けるだけでなく、一般作業員からの「参加意欲の盛り上げ」も重要であることから弊社独自の《ゼロ災指針》を策定し展開しています。



ゼロ災指針



## 4. 安全衛生目標



2021年 安全衛生目標

安全衛生管理の最終目標は『完全無災害』ですが、スローガンとして《安全衛生目標》も策定しています。この目標は毎年、弊社職員と協力業者から公募し、選考の結果、最優秀となった作品を年度の目標（スローガン）として採用しています。毎年100件を超える応募があり、応募者それぞれが安全衛生に対する思いを込めて作成しているため、安全意識の高揚にもつながっています。



## 5. 安全衛生管理計画



安全衛生管理方針と近年の安全成績、安全パトロール結果等を基に年度計画を策定しています。基本となる安全活動を着実に積み重ねていくことを目的としているた

め、マンネリ化を防ぎながら質の高い安全衛生活動を続けるための項目、具体的な内容を明記しています。



## 6. 主な安全衛生活動



### (1) 安全祈願祭、安全大会

全国安全週間直前の6月末に安全祈願祭、追込み期を迎える9月末に労働災害絶滅総決起大会を開催して安全に対する決意を新たにしています。



安全祈願祭



労働災害絶滅総決起大会

### (2) 安全衛生委員会

毎月末に安全衛生委員会を開催し、工事現場の安全衛生を中心に全社的な安全・衛生・交通安全、その他の問題点を話し合っています。

### (3) 安全衛生パトロール

#### ①事業主パトロール

安全週間及び衛生週間に社長及び会社幹部が参加して事業主パトロールを実施しています。

#### ②店社安全衛生パトロール

安全衛生管理室と各部門安全担当者、協力業者安全担当者が参加するパトロールを毎月1回、全現場を対象にして実施しています。

#### ③交差パトロール

各部門安全担当が他部門の現場をパトロールし、違う視点から点検・指導を行っています。

#### ④女性職員による現場安全点検

女性職員による現場点検を行い、男性中心の建設現場では当たり前になっていて気付かない問題点を抽出・改善提案を行っています。



女性職員による現場安全点検



## 7. その他の安全衛生活動



「送り出し教育」や「黙想KY」など他社の活動でも良いものはどんどん取り入れるようにしていますが、世間一般に広まっているものは見慣れており効果が薄いと考え、弊社独自のシンプル且つ分かり易い活動を、安全衛生小委員会という改善グループが中心となり作成し展開しています。

代表的なものをいくつか紹介すると、マスコットキャラクター《Mr.セーフティー》は怠けることなく着実に走り続けゴールした童話の「うさぎとかめ」の亀をモチーフにして作られ、“安全確認は怠けることなく確実に”を訴えています。《ひしなか運動》は“声を掛け合うことによって融和ある人間関係を生み出し、一人ひとりの安全意識を高揚させること”を目指して展開しています。交通安全活動では交通安全マスコットキャラクター《ヒッシー君とシーナちゃん》や「通勤ヒヤリマップ」なども作成し、全社・全現場への浸透を図っているところです。



ひしなか運動



マスコットキャラクター  
Mr.セーフティー



ヒッシー君と  
シーナちゃん



## 8. むすびに



基本となる活動に新たな弊社独自の活動を加えながら、創業以来継続してきた「全員参加」や「人の意識作り」を推し進め、最終目標である『完全無災害』を成し得たいと考えます。

# 私の趣味

## 『仕事の原動力』

東洋建設株式会社 北海道支店  
支店長 古田 圭也

私は札幌で生まれ、高校を卒業するまで札幌で過ごしました。小学校を卒業するまではとにかく野球が好きでクラスの仲間でチームを作り、クラス対抗戦や他の小学校のチームとよく試合をしたことを思い出します。「巨人の星」に影響を受けて、話題は常に野球を中心とした時代でした。プロ野球は巨人戦しか放送されなかったため、洗脳されたかのように巨人ファンとなり、ポジションはサードかファーストのどちらかで争っていました。

中学、高校と進学していくと勉強の方も難しくなり、野球からは離れてしまいましたが、高校時代はハンドボール部に入部しました。恥ずかしながら、高校入学までハンドボールの存在自体知りませんでした。やってみてわかりましたが、かなりハードなスポーツです。どちらかというラクビー系ですが、私の印象は武闘系です。背は大きかったのですが体重が伴わず、体を当てられるとその場でうずくまり動けなくなります。オリンピックなどの世界大会がテレビで放映される時は昔を思い出して見るようにしていますが、選手の素晴らしい運動能力や基礎体力は、会場にいなくても理解することができます。

会社に入社してからはよく先輩にお酒を勧められ、もともと体質的にお酒は弱いほうでしたが、今ではすっかりお酒とともに生活するようになってしまいました。仕事が終わった後の一杯がとても至福です。若い頃はビールと麦焼酎しか飲みませんでした。歳とともに芋焼酎の味を覚え、この歳になってようやく「森伊蔵」、「魔王」、「村尾」を制覇することができました。新型コロナウイルスの拡散を受け、外



でお酒を飲む機会はありませんが、支店の社員同士が業務の遂行や目標達成のために会話や交流を重ねて関係を深める、いわゆる社内コミュニケーションの場をつくることは必要だと考えています。毎月月初めの朝に月頭祭を開催し、夕方はノー残業にして社内コミュニケーションを始めることとしています。活発なコミュニケーションにはお酒が付き物です。私はビール、焼酎派ですが、周りの職員はそうではありません。日本酒をこよなく愛しています。数日前になると支店がざわめきだし、その日のために日本酒が着々と準備されていきます。「何を選んでいいのだろうか…?」。私は一切関与しないでみんながお酒をたしなみながら活発なコミュニケーション

がとれば、それが一番喜ばしいことと思っています（先に呑むのは私ですが）。新型コロナウイルスの拡散も心配なので、シールドを設置し、換気を整え、3密を防止しながら短時間で終わらせていますが、短時間でもこの上ない意見が飛び交いますので、社員同士の能力や生産性が高められていると感じています。

私の趣味や休日の過ごし方について少しお話をさせていただきます。日曜日の午前10:30~午後0:00までは、NHK杯テレビ将棋トーナメントを見ています。毎週とまではいきませんが、序盤、中盤、終盤の攻防にはドラマがあり、次の一手を一緒に考えながら見ています。解説者もすばらしく、一瞬で10手以上先を予想されるので、“本当に同じ人間なのだろうか”とってしまいます。実際に指している棋士は無言のまま頭の中で解説者をうならせる攻防を繰り返して、必ず1時間半で決着するところがたまらないところです。もともと小さいときから将棋が好きで友達や親と指していましたが、今はYouTubeで藤井聡太の逆転劇を見たり、頻度は少ないですが将棋ゲームでコンピューターを相手にしています。

体を動かす趣味は、やはりゴルフになります。入社3年目からゴルフを始めました。当時は横浜支店に所属しており、ゴルフは1大イベントでした。朝4:00頃に寮を車で出発し、高速道路やフェリーを使って千葉県まで向かいました。ゴルフ場においては球を数多くたたき、昼の休憩を1時間程度挟みながらプレーをして、家路に着くころは日が暮れていました。土日しか行けなかったことから料金も高く、交通費や食事代を含めると、毎週ゴルフをした場合、ゴルフだけで給料が無くなってしまいます。こんな思いをしてまでやりたくなる理由は、150、140、130、120、110、100とゴルフをするたびにスコアが縮んでいったからだと思います。しかし、100を切るところで壁にぶつかりました。ゴルフの上手な方から手ほどきを受けたり、打ちっぱなしにもたま

に行きますが、今なお100をひとつでも切れれば喜びを感じています。北海道のゴルフ場は近場に数多くあり、また休憩なしで回れますので環境は非常に良く、健康のためにも続けていきたいと思っています。

ゴルフ以外にも、ジムのランニングマシンを使って汗をかいています。もともとは高血圧解消のために6年ほど前から始めたことですが、ゴルフをする上での体力づくりにもなっています。時速9 km/hで30分、調子のよい時で1時間を目安にしています。ランニングを本格的にされている方からみると大した速さではありませんが、私にとっては限界の速度です。学生の頃、体育の時間で1,500mを走りましたが、約10分かけて走る速度になります。さらにスピードを増すと左の膝（古傷）が痛み出しますので、無理をせずマイペースで走っています。ただし、汗の量は尋常ではありません。幼い頃から発汗量が多い体質であり、大人になっても相変わらずよく汗をかく方です。ランニングを開始して3分後には額から汗が流れだします。目に入ると中断しなければならなくなるので、必ず頭にタオルを巻いてから走るようにしています。コロナウイルス感染防止の対策としてマスクの着用が義務付けられていますが、これがまた大変でありマスクの中がサウナ状態になってしまいます。仕方のない話ですが、替えのマスクを持参して必要な時にすぐ交換できるようにしています。

正月には恒例の箱根駅伝が開催されます。正月に見る唯一の番組ですが、選手の頑張りを見ていると自分も力が湧いてくるような感覚を覚えます。アスリートの素晴らしいところは、困難な問題や危機的な状況に陥っても柔軟に立ち向かい集中力を高められるところだと思います。私はアスリートにはなれませんが、可能な限り真似ができればと考えています。

今考えると、社内コミュニケーション、将棋、マラソンは仕事の原動力になっていますね。余談ですが、いつか市民マラソンにも挑戦したいと思っています。

# 福島漁港屋根付き船揚場の完成

北海道開発局 函館開発建設部

福島漁港は、イカ釣漁業や一本釣漁業、磯根漁業など沿岸漁業の生産拠点として重要な役割を担っています。また、つくり育てる漁業として養殖コンブ漁業が盛んに行われており、年間陸揚量の約8割をコンブ類が占めています。

当漁港の第3港区船揚場は、主に養殖コンブ漁業の陸揚げ施設として利用されていますが、養殖コンブの陸揚げ時は、野天作業であるとともに、養殖コンブに付着した泥等の洗浄作業も一連で行っているため、直射日光や降雨（真水）の影響による養殖コンブの品質低下が懸念されていました。また、冬期間は根しばり（養殖ロープにコンブを縛り付ける作業）や間引き作業など養殖コンブの管理作業が行われており、降雪時の操業前は漁船や船揚場の除雪作業が重労働になっていました。

このことから、函館開発建設部では、直轄特定漁港漁場整備事業計画（福島地区）に基づき、令和2年8月から既設船揚場への屋根かけ整備（延長40m、奥行15.5m、梁下高3.5m）を進め、令和3年5月末に完成、同年6月から供用を開始しました。また、船揚場背後の漁船保管施設用地において砂埃防止のための防塵処理も行いました。

屋根付き船揚場の完成により、養殖コンブの品質低下の防止とともに、漁業利用者の就労環境の改善が図られ、養殖コンブ漁業の生産性向上・安定が期待されます。



【整備前】野天での作業状況



完成した屋根付き船揚場



【整備後】屋根付き船揚場での作業状況

## ◎事務局だより◎

新型コロナウイルス感染症が終息しない中、東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。

1年延期、無観客等、異例の開催内容でしたが、夏の大会については存命中の国内開催はこれが最後だろうと思いながら観戦しました。

中でも新種目のスケートボードは国内では競技人口も少なく、指導者もほとんどいない中で男女とも金メダルをとる等、時代の流れを感じました。

建設業も働き方改革に向けた、施工効率向上、ICT活用（BIM/CIM原則適用）、週休2日等、次世代に向けた取組が求められています。

## ◎業界だより◎

### ◎会員代表者の交代

●豊浦建設工業(株)

代表取締役社長 金丸 淳

●ハラダ工業(株)

代表取締役 藤野 徹弥

## ◎広報委員会だより◎

令和3年9月現在の広報委員は以下のとおりです。

委員長	小野寺 勇	東亜建設工業(株)
副委員長	古田 圭也	東洋建設(株)
(部会長)	宮部 秀一	(株)菅原組
(副部会長)	大前 豊	五洋建設(株)
	高木 哲夫	萩原建設工業(株)
	石島 隆司	近藤工業(株)
	石川 洋一	あおみ建設(株)
	森 信幸	(株)不動テトラ
	千葉 不二夫	勇 建設(株)
	小玉 茂義	東亜建設工業(株)
	上野 強	釧石工業(株)
	今林 弘	菱中建設(株)

※広報委員会からのお願い

1. 新造船（機械・装置含む）の紹介
2. 注目される工事の着工、完成
3. 工事現場の紹介
4. 各地域の技術研究会・イメージアップ事業等の紹介をお待ちしております。

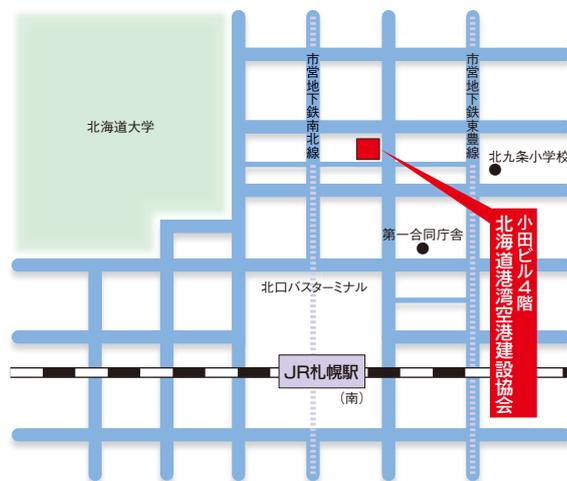


さんま水揚状況



〔写真提供：釧路開発建設部 根室港湾事務所〕

## 北海道港湾空港建設協会 案内図



## 会報「北のみなと」No.103

発行年月 令和3年9月  
 発行 北海道港湾空港建設協会 会長 藤田 幸洋  
 札幌市北区北9条西3丁目10-1 (小田ビル4階)  
 TEL (011) 707-4731 FAX (011) 707-4733  
 http://www.hokkaido-kkk.jp  
 Email:hkkk@h4.dion.ne.jp  
 編集 北海道港湾空港建設協会 広報委員会  
 編集責任者 宮部 秀一  
 印刷 (株)須田製版